

頁	場所	誤	正
p.55	5.3 節 14 行目	■SQL は計算完備ではない	■SQL は計算完備？
p.55 ~ 56	5.3 節 15 行目 ~21 行目	さて、SQL はリレーショナル完備であるが、計算完備 (computationally complete)ではない。ここに、計算完備とは、“世の中で計算できることはプログラムできる”という性質で、通常のプログラミング言語はその性質を有する。しかしながら、SQL はそうではない。これは、具体的には SQL が IF 文, CASE 文, LOOP 文, WHILE 文, FOR 文などを有していないからである。(その結果、SQL を使っているだけでは、ひょっとすると社員のボーナスの計算は無理で、社員は悲嘆にくれてしまうかもしれない)。	さて、SQL はリレーショナル完備であるが、計算完備 (computationally complete)であろうか？ここに、計算完備とは、“世の中で計算できることはプログラムできる”という性質で、通常のプログラミング言語はその性質を有する。SQL は SQL:1999 の改正で再帰問合せ (recursive query) が導入されたことで理論的には計算完備になった。しかしながら、実践的には計算完備とは言いがたい。なぜならば、SQL:1999 が IF 文, CASE 文, LOOP 文, WHILE 文, FOR 文などの制御文を有していないからである。
p.57	■ SQL/PSM の記述の末尾に追加		SQL/PSM では制御文が規格化されている。
p.87	8.1 節 2~3 行目	を報無損失分解	を情報無損失分解
p.150	下から 10 行目	9	8